

令和7年2月7日

保護者の皆様

東京学芸大学附属大泉小学校
校長 杉 森 伸 吉

令和6年度 学校評価アンケートの結果報告

日頃より、本校の教育活動についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、「令和6年度学校評価アンケート」の結果についてご報告いたします。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。保護者の皆様から寄せられた本年度の学校教育活動についてのご意見を真摯に受け止め、その成果と課題を明らかにした上で、次年度以降の学校経営における取り組みに反映してまいります。

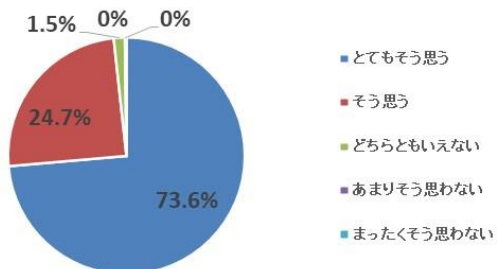
※アンケート実施期間：令和7年1月14日（火）～令和7年1月21日（火）

※アンケートの実施方式：大泉小web連絡システムのアンケート入力フォーム 5件法方式
自由記述あり

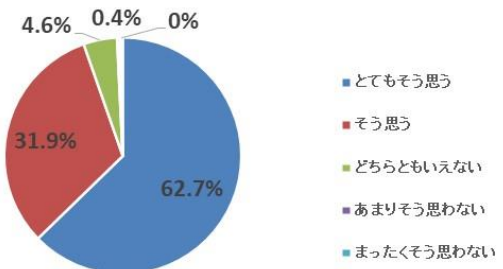
※回答数（回答率）：保護者 523名（90.3%） ※昨年度（89.7%）

I 学校の教育活動全般について

設問1：学校は、児童に豊かな心をはぐくむために、特色ある教育活動(学校行事、体験活動、生活団活動等)を行っている。



設問2：学校は、児童が「楽しさ」や「充実感」を感じる学校生活がおくれるように、学年や学級の経営を工夫している。

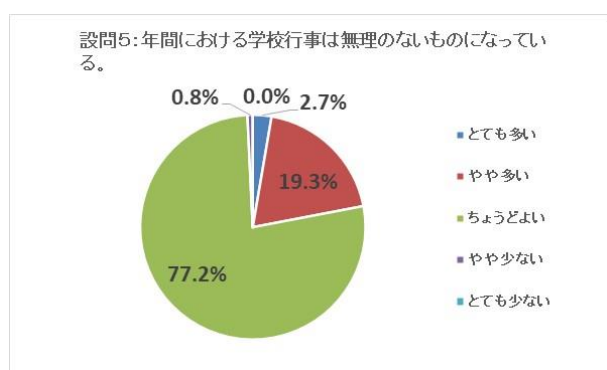
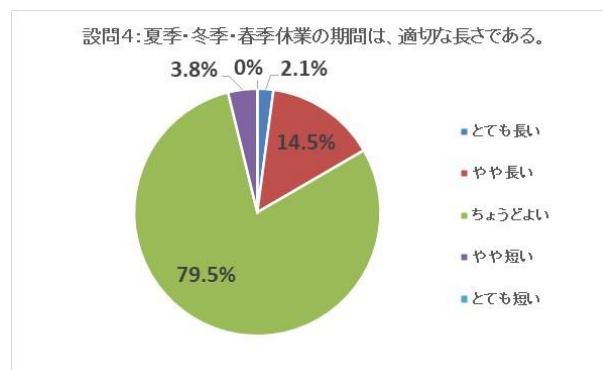
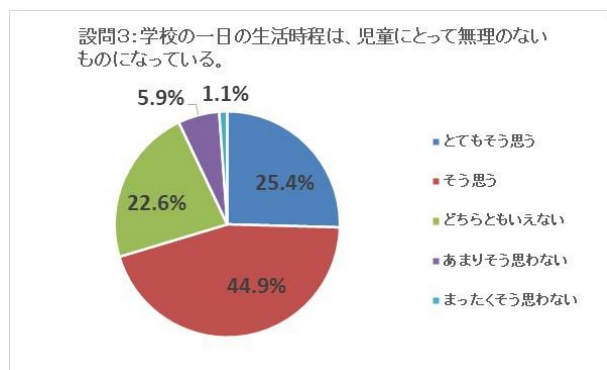


設問1は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて98.3%（昨年度98.5%），設問2は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて94.6%（昨年度96.9%）でした。この結果から、本年度の教育活動について、概ねご理解とご賛同をいただきました。

設問1について、本校の教育活動は、「何を目的とした教育活動なのか」という原点に立ち戻り、教員間でもう一度その目的について議論して時間や内容、取り組み方を決定し、子どもたちの豊かな体験活動を保証してまいりました。そのことにより、評価をいただいたものと考えております。

設問2について、各学年の教員（専科教員も含む）が工夫しながら、児童が居心地の良い学年・学級経営に努めてまいりました。本年度は「きれいな言葉・きれいな学校」「わかちあう喜び・わかちあう豊かさ」を重点にしましたが、今後も子どもたちが「楽しさ」や「充実感」，「居心地のよさ」を実感しながら、学校生活を過ごせるように、御家庭と協力して子どもたちの気持ちをより細やかに見取り、教育活動及び学年・学級経営を進めてまいります。そのためには、教員がしっかりとひとり一人のお子様に向き合うことが重要でありますので、その視点を大切に本校の学年・学級経営を再点検してまいります。

Ⅱ 生活時程、年間行事の組み方等について

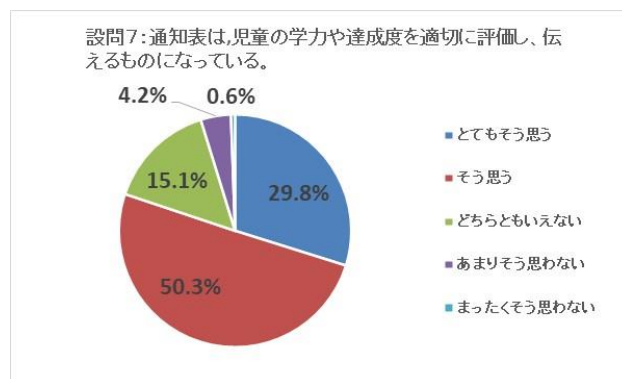
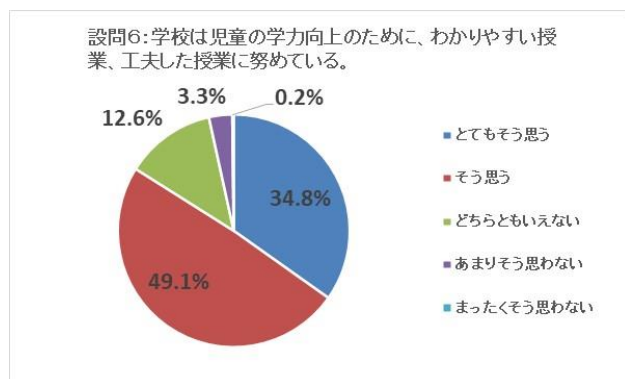


設問3については、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて78.4%（昨年度68.3%）、「どちらともいえない」は22.6%（昨年度22.1%）でした。一方、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせると29.6%（昨年度31.7%）となりました。本校の生活時程は、40分7時間授業の通常時程と午後の時間割及びそれに伴う下校時刻に差があるA・B・C時程を設定しています。また、5校時授業（保護者会）・6校時授業（教員の研究会）と原則化して複雑にならないようにいたしました。しかし、今回の結果を受け止めながら、保護者の皆様に、学校通信、学年通信（掲示板）を通して、さらにわかりやすく丁寧な時程連絡を心がけてまいります。

設問4については、「ちょうどよい」が79.5%（昨年度80.6%）、「とても長い」「やや長い」が合わせて16.6%（昨年度12.5%）でした。各学期の開始・終了は、公立小学校や他附属小を参考にしながら設定しております。しかしながら本校の教育活動の特色でもある臨海学校については、海での水泳に適した気候の関係で夏季休業前半に5・6年生の設定しているため、夏季休業日の開始時期が公立小学校と比較して早くなっております。その分、2学期は、8月下旬より開始しています。一方で、ここ数年の夏の暑さを考えると、熱中症の心配もあり、通学の問題、校内環境もより配慮が必要になってきています。次年度は、8月後半の2学期開始であっても、授業時間を変更するなど、慎重に検討してまいります。

設問5については「ちょうどよい」が77.2%（昨年度79.0%）でした。また、「やや多い」が19.3%（昨年度17.7%）という結果になりました。本校に現在在籍している児童には、コロナ禍前に入学した児童とコロナ禍で入学した児童が混在しています。この間、教育活動の量や質の変化が大きかったことから、結果として多忙な意識差が生じていることも推測されます。本校が大切にしてきた行事に価値を見いだして入学を希望されたご家庭もあり、自由記述ではその評価もいただいていること、一方で季節によっては、多忙感を感じている児童や保護者の様子もあることから、今後も全教職員で本校の特色ある行事の継続・その取り組み方の改善について検討してまいります。

Ⅲ 学習指導、及び評価について

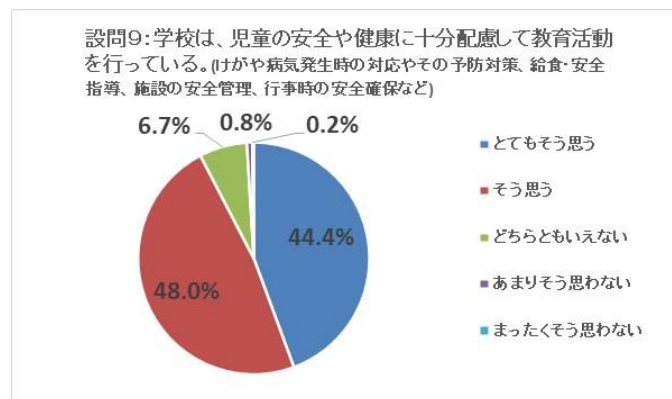
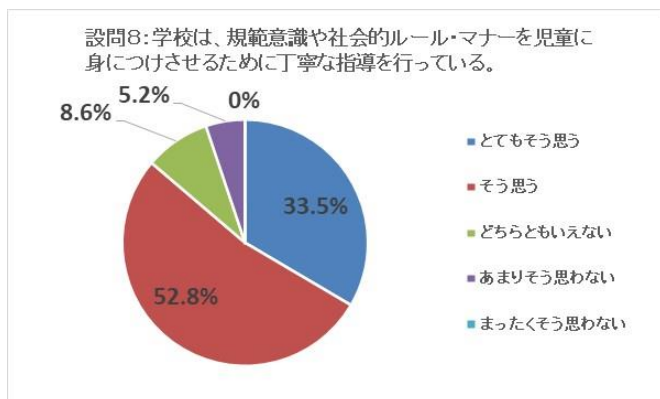


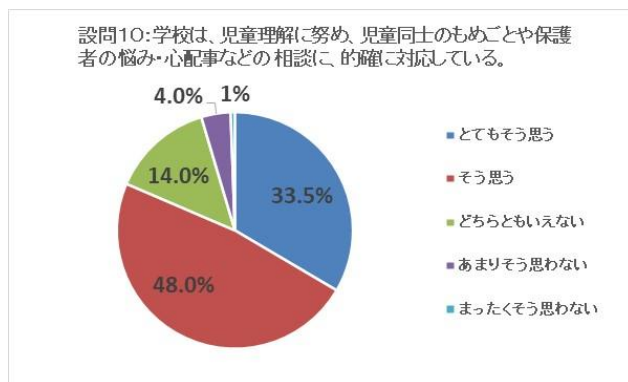
設問6は、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて83.9%（昨年度84.1%）でした。「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が合わせて16.1%（昨年度16.0%）という結果となりました。本年度も、教員間で日常的に授業を公開したり、校内研究として授業研究を進めたりしました。さらには日常的な授業研究も他校にも広く公開するなど、学校外の指導者からも助言を受けて指導力の向上に努めてまいりました。1月24日（金）には5年ぶりの対面での研究発表会を開催することができました。また、保護者の皆様にも、授業参観の機会をもとに実際の授業の様子をご覧いただくなどして、今後も教員全体が児童や保護者の皆様の声を真摯に受け止め、児童の学力向上を目指して授業改善に努めます。さらに、保護者の皆様にその「成果」を見ていただくことがより一層重要であることから、次年度も保護者の皆様に対面での授業参観を計画する予定です。

設問7については、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて80.1%（昨年度77.7%）でした。「どちらともいえない」が15.1%（昨年度18.5%）「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が合わせて4.8%（昨年度3.9%）となりました。通知表「きくの子通信」については、事前に保護者会でその読み取り方等をお知らせして、結果・課題のみならず、子どもたちに今後の意欲を持たせることができるようにしています。本年度もPYP校として、2学期終了後に個人面談を実施する中で児童の学習の様子（総合所見）をお伝えしました。また、お子様がどのような探究活動をしたのか、子どもが自分の言葉で語る場として三者面談の形式で取り組みました。この取り組みには「具体的な子どもの成長が探究ユニットの学びの発表からわかる」というお声もいただいております。

今後も、校内で検討を加えて、適切な評価はもとより、児童や保護者の皆様に分かりやすく伝えることができるよう努めてまいります。さらには、PYP校として望ましい通知表の検討もすすめてまいります。

Ⅳ 生活指導、心のケア等について





設問8は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて86.3%（昨年度86.4%），設問9は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて92.4%（昨年度92.4%），設問10は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて81.5%（昨年度79.4%）でした。

設問8について、本校では、全教育活動を通して「きれいな言葉・きれいな学校」という合言葉で指導しております。学校、学級におけるルールは、単にルールを知ることではなく、なぜそのルールなのかを正しく理解することで子どもたちの活動が充実します。また、ルールを保った集団生活は、「相手を思いやる心」「わかちあう心」を醸成することにつながります。タブレットなどICT機器の利用については、子どもであっても利用者としてのルール・マナーについても規範意識を高める必要があります。本校のSNSルールは、「人の気持ちを傷つけることをしない」という大切な心の約束をもとにしています。このことも意図して本年度も5・6年生を対象に外部講師をお招きして「SNS利用講習会」を開催して、SNSに潜む危険性や正しい利用について学びました。今後とも、児童の利用状況を見ながら、課題に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、家庭での約束事をお子様とともに設定していただき、安全に楽しく使用できるようご協力をお願いいたします。

登下校時のルール・マナーは、電車やバスの車内での様子（走り回る・席を奪い合う・騒がしいなど）について、地域の方から大変厳しい声をいただくことが本年度も度々ございました。調べてみますと、しっかりとした態度で登下校できる子どもも多くいるのですが、ご指摘いただく状況は、「集団での様子」が原因で起きていることが多いです。そこで、本年度もブロック集会では、教師が重点的に指導する、子どもたちが自ら安全についてマナーについて話し合う機会を増やしました。また、PTA校外生活委員会の保護者の皆様による放課後の校外パトロールも本年度よりスタートしました。ありがとうございます。今後も児童の安全・マナーについて全教職員で指導しますので、ご家庭でも登下校指導へのご協力を重ねてお願いいたします。

設問9について、本校では、日常の学校生活、学校行事での安全対策（避難訓練）、日常的、定期的な安全点検、給食のアレルギー対応等、子どもたちの健康と安全の確保に努めております。「換気」については継続して重点化し、定期的な換気やサーキュレーターの稼働を実施してまいりました。また、インフルエンザ等の感染症の罹患状況がある場合は、これ以上の感染を防ぐために、生活団清掃などの異学年での交流は臨時的に避けております。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるように健康安全を第1に考えてまいります。ご家庭でもあらためて、手洗い・うがい等の指導をお願いいたします。

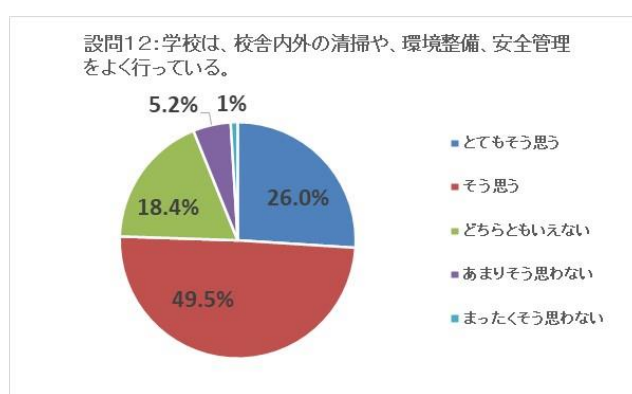
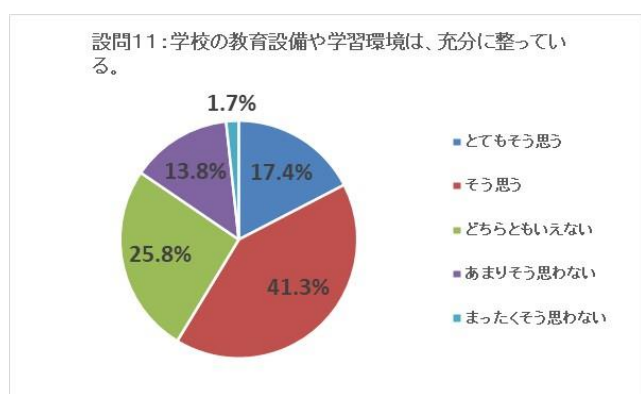
設問10について、昨年度大きく下がった評価をやや上回る結果になりました。本年度も、「いじめ防止対策」について教職員での話し合い、教育相談研修を繰り返しました。子ども達にも法律の専門家を招いて、人権に対する意識を高める学習をすることも継続しています。生活集会の枠組みを変更して毎月1回開催している「人権教育にかかわる集会（人権集会）」では、学級のみならず、テーマを設定して異年齢集団の生活団で話し合っています。このことは、子どもたちの心を揺さぶり、生き方について真に考える機会になったことを子どもの感想からも感じております。また、保護者の皆様の自由記述からも「人権集会の内容は貴重な学びで

あったと子どもの様子から受け止めている」などの評価もいただいております。

児童やご家庭の相談窓口のひとつである、スクールカウンセラー相談日（すこやか相談日）は、多くの児童・保護者に活用していただいております。さらには、大学のスクールソーシャルワーカー（SSW）にもご意見をいただき課題解決を図るよう努めています。

今後も、御心配なことがある場合は個人面談の時期だけではなく、いつでも担任だけでなく他の教員でも構いませんのでお声がけ下さい。適宜面談は実施いたします。「まず、相談してみよう」と相談の垣根を低くするために、QRコードを使って簡単に予約ができるようにしております。今後も引き続き児童や保護者の皆様の心情をくみ取りながら、複眼的な視点で子どもたちを見守るなど、諸問題の未然防止や早期発見ができるよう努めてまいります。また、児童同士のトラブルが保護者のトラブルにならないように、さらには、大人が児童同士の問題をつくってしまわないように、ご協力をお願いいたします。

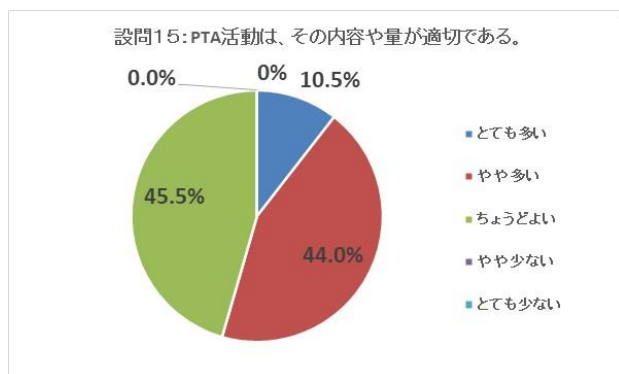
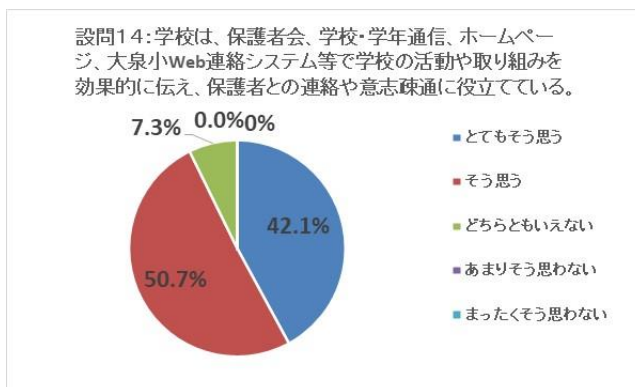
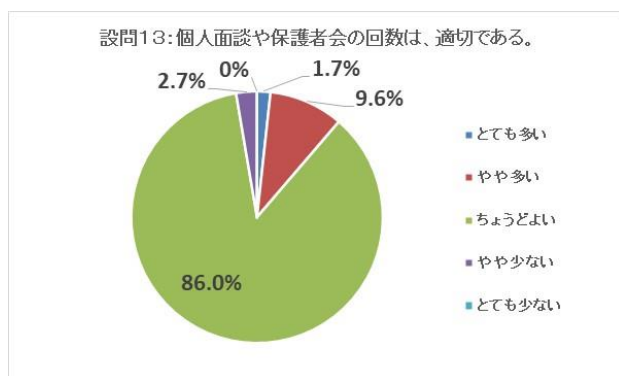
V 教育設備・環境、学校整備について



設問 11 については「とても思う」「そう思う」が合わせて 58.7%（昨年度 61.4%）で、「どちらともいえない」25.8%（昨年度 26.3%）でした。また、「あまりそう思わない」については、13.8%（昨年度 12.1%）となっています。設問 11 の回答として 6 割を下回る結果となりました。この設問 11「教育施設・環境・学習環境」については自由記述でもご心配のお声が寄せられております。これまで本校の教育環境（施設・設備）においては、優先順位を定めて、予算案を立案して、その支出の関係から、学校で解決できる内容、大学でお願いする内容に分けております。最近の傾向では、修繕をする内容も多くことも含まれております。物価高騰のあおりも受けて修繕・整備には難しいことありますが、全ては子どもたちのためでもありますので、今後も大学にお願いしたり、菊泉会（寄付金）のご協力をいただいたりしながら進めてまいります。

設問 12 については、「とても思う」「そう思う」が合わせて 75.5%（昨年度 78.1%）で、「どちらともいえない」が 18.4%（昨年度 18.1%）でした。本校では、日常的に児童の生活団や教職員で学校全体の清掃活動をしており、教職員で分担して安全点検などを行っています。安全点検で課題となった箇所は緊急度に合わせて修繕等を行っています。清掃面では、本年度も PTA 環境整備委員会を中心に、PTA 全校清掃を企画していただき、多くの保護者にご参加いただいて校内を隅々まできれいにさせていただきました。ありがとうございました。児童の生活団による清掃活動も欠かせませんが、今後も、校舎内整備活動を計画的に行い、「もっときれいな学校」になるよう、校内設備の充実や、維持向上をしてまいります。

Ⅵ 家庭と学校との連絡、PTA活動について



設問13については、「ちょうどよい」86.0%（昨年度 89.1%）でした。本年度の個人面談、保護者会も、集合形式を中心として実施しました。2 学期には、オンライン保護者会も取り入れています。個人面談や保護者のみならず、学校行事等でも学校に足を運ぶ機会が多い本校ですが、概ねよい評価をいただいたことが分かりました。前述の通り、2 学期の個人面談は、三者面談として実施しました。面談内でのお子様の探究プログラムの学びの発表という取り組みは、保護者の皆様にも評価していただいております。また、授業参観の機会を設定してお子様の学習や生活の様子、担任の授業についても知る機会としました。教科学習だけでなく、全学級で「道徳」の授業を公開する授業参観や「探究ユニット」の内容も積極的に授業参観で公開いたしました。「探究ユニット」はその学びの過程で、日頃より保護者の皆様からのコメントもいただいております。ありがとうございます。次年度も、授業参観日を設定しておりますので、どうぞお越しください。

設問14については、「とても思う」「そう思う」が合わせて 92.8%（昨年度 96.0%）でした。昨年度リニューアルした本校のホームページでは、これまでの教育活動の特色に加えて、IB バカロレア PYP 認定校としての詳細（探究ユニットの紹介）を掲載しております。ホームページは、本校の関係者のみならず、教育関係者や本校に関心がある世界中の方々にも見ていただいております。保護者専用ページも活用しながら、今後も本学の「学校 web ページ運用規定」に沿って、更新をこまめに行ってまいりますので、感想をお聞かせいただければ幸いです。さらに、「大泉小 Web 連絡システム」は、各学年掲示板、児童の欠席連絡等、アンケート機能など、学校と児童や保護者を結ぶ大切な役割を果たしました。資料も添付することができることがよさの一つでもあります。遠足や移動教室の現地での活動をタイムリーに発信することも実証的に取り組みながら、今後もさらなる活用の充実を図って参りたいと考えております。また、学年通信は、特に探究ユニットの進行状況をわかりやすくお伝えすることとしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

設問15については、「ちょうどよい」45.5%（昨年度 54.2%），「とても多い」「やや多い」が合わせて 54.5%（昨年度 45.8%）でした。本年度も、日常的な取り組みに加えて、各行事の実施においても運営委員や常置委員の皆様にご協力い

ただき感謝いたします。本年度は、研究発表会が対面開催になったことも一つの要因として、このような評価になったと受け止めています。一方で、リサイクルバサーを年1回にしたり、DVD 貸し出しをマルチメディア室で行ったりしながら、PTA 活動に対する負担の軽減化も進めていただいております。さらには、常置委員会の活動でオンラインなども活用して効率的に活動できるよう工夫されております。

「PTA 活動を通して、子育てについて情報交換する機会になってよかった」「子どもたちの学校生活の様子を学校行事以外で知ることできる」というお声もいただいておりますので、今後も PTA 運営委員会の皆様と協議しながら、PTA 活動が保護者の皆様の過重な負担にならないようしたり、保護者の皆様のコミュニティーが広がるよさをより実感していただけるように努めたりしてまいります。

最後になりますが、本アンケートでは、I からVIごとに自由記述の欄を設定して、ご意見をいただきました。それぞれに触れることは紙面の関係でできませんが、いただいた貴重な感想・ご意見をもとに今後の学校運営に活かしてまいります。令和6年度学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。